

ベビーカー
STICK
スティック

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

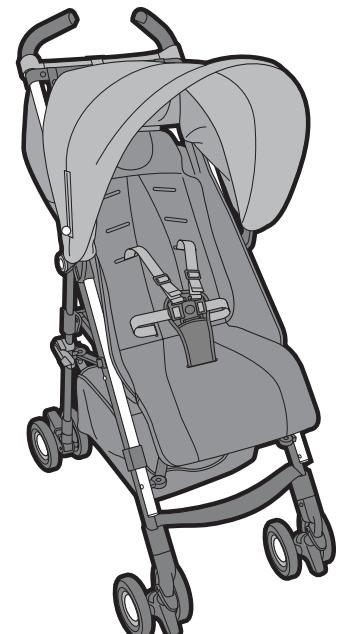
この製品は生後1ヶ月～36ヶ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1ヶ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1ヶ月を経過した乳児をいいます。

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。

取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



SG安全基準A形

目 次

はじめに

ご使用前に	1
保護者の方へのアドバイス／SG基準について／本書の表示について	
ご使用上の注意	2～4
警告／注意	
製品を取り出した時に	5
製品の特徴	
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方	7
キャスターの使い方	9
ストッパーの使い方	9
足のせサポートの使い方	10
お子さまの乗せ方	11
肩ベルトの高さ調節	13
リクライニングの角度調節	14
日除けの使い方	15

パッド類の取り付け方	17
カゴの使い方	18
ショルダーストラップの使い方	18
ベビーカーの折りたたみ方	19

縫製品の取り外し方法

日除けの取り外し方	21
シートの取り外し方	22
シートの取り付け方	24

その他

日常のお手入れ	26
困った時	27
保管について／廃棄について	28
SGマーク制度について	28
保証とアフターサービスについて	29
保証書	30

○本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
○製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合もありますのであしからずご了承ください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。

特に新生児期を過ぎて首がすわるまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。

- ①常に赤ちゃんの様子に気を付け、連続使用は避けましょう。
- ②赤ちゃんに直射日光が当たらないように注意しましょう。
大人が感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
- ③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
- ④段差の通過は出来るだけ静かに、振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。（この製品は、SG安全基準A形合格品です。）

適用範囲	この乳母車は、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用の乳母車です。
形式の分類	A形 生後1ヶ月 [*] を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できる乳母車。
使用範囲	生後1ヶ月から36ヶ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢：2時間以内 座らせた姿勢：1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

* ここでいう生後1ヶ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1ヶ月を経過した乳児をいいます。

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止記号	表示の意味
🚫	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
👉 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠ 警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

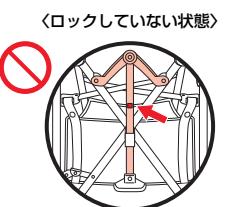
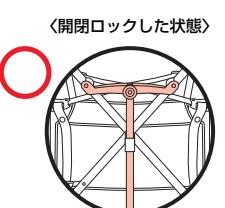
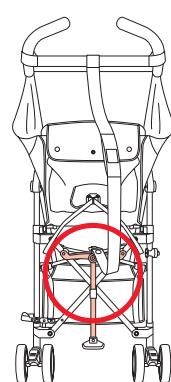


シートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）を外して使用しない。



ベビーカーの中でお子さまを立たせない。

ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まるおそれがあります。



使用前はロックペダルバー上部の赤いマークが隠れていることを確認する。



お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。



バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。



お子さまを乗せたまま持ち上げない。



お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。



肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。また、お子さまの体格に合わせて調節すること。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。

!警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。



お子さまを乗せる時や降ろす時は必ず車輪ストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。



二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。



お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかがったりしない。



お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。

!警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

○お子さまにベビーカーを操作させない。
○お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる
こと。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
○弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。

○シートを外した状態で使用しない。
○急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い
衝撃が加わった後に使用しない。
○お子さまの遊び道具として使用しない。

!注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

○必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
○ご使用前に、ベビーカー本体とシートが正しく取り付けられていることを確認してください。
○可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはプラスチック用の潤滑油をご使用ください。
○長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
○空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
○ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
○2台のベビーカーを連結して使用しない。
○前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
○ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
○ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
○フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
○ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
○カゴに重量2.5kg以上の荷物を入れない。
○ロックペダルの上に乗ったり、物を載せたりしない。
○踏切や排水路のふたなどの路面の溝に車輪をとられたり、はまれないように注意する。

○保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
○荷物などの運搬のために使用しない。
○その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
○バスの中では使用しないでください。
本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思ぬ事故につながります。
○電車の中での使用について。
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
○電車のご利用時には、無理な乗り降りはしない。
ベビーカーが電車などの自動ドアにはまれても感知されない場合があり、ケガをするおそれがあります。
○雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
○風の強い時は使用しない。
○雷の時は使用しない。
○室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
○火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
○その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

○段差を乗り越えにくい場合は、下図のようにして乗り越えてください。



後輪タイヤに足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、
ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。



開閉操作は、お子さまが接触した状態や
近くにいる時には行わない。



ハンドルに過度の荷重を
かけない。

ステップ以外の部分にお子
さまの足を乗せさせない。

製品を取り出した時に

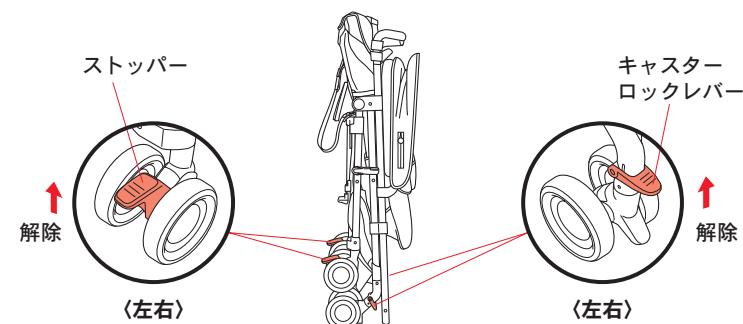
- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29参照)
- ・ご使用の前に、P30「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」をご参照ください。)
 - ②お買い上げ年月日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P29参照)
- ・製品の特性上、折りたたみの際にしわが発生することがあります。
ご使用上安全性を損なうものではありませんので、あらかじめご了承ください。

本体

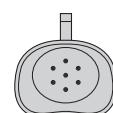
- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
ベビーカーを開く時はP7を参照してください。

〈製品を取り出した時には〉

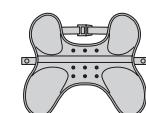
キャスター、ストッパーがロックされた状態になっております。
ご使用の前にキャスター、ストッパーのロックを解除してください。(P9参照)



付属品



頭マモルパッド



腰マモルパッド



取扱説明書／保証書(本書)

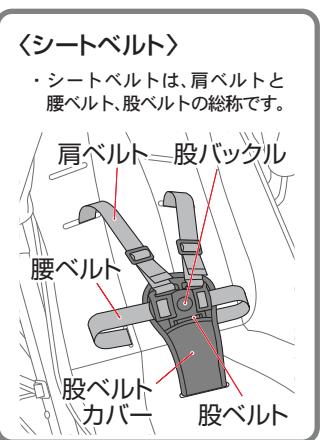
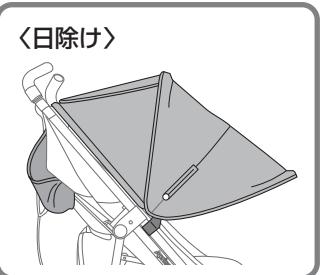
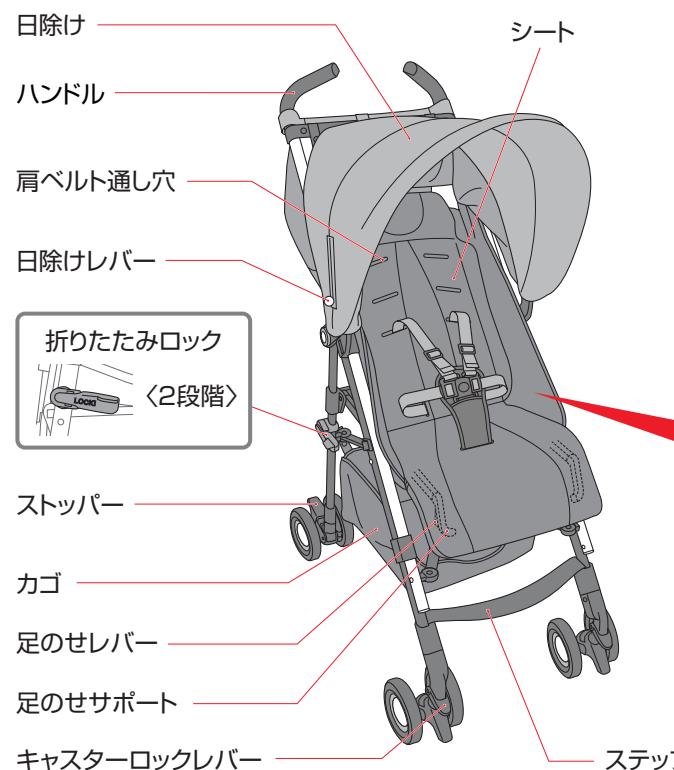


- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。
お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります。

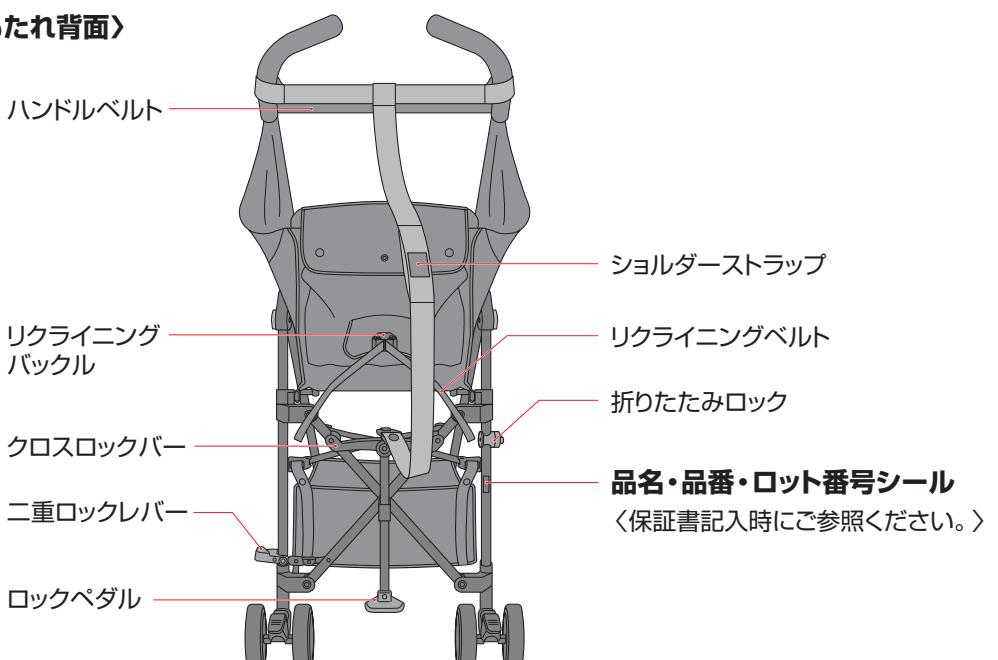
〈製品の特徴〉

- ・ハンドルは背面側固定式です。
- ・前後左右折りたたみ方式です。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。
- ・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。

各部の名称



〈背もたれ背面〉



ベビーカーの開き方

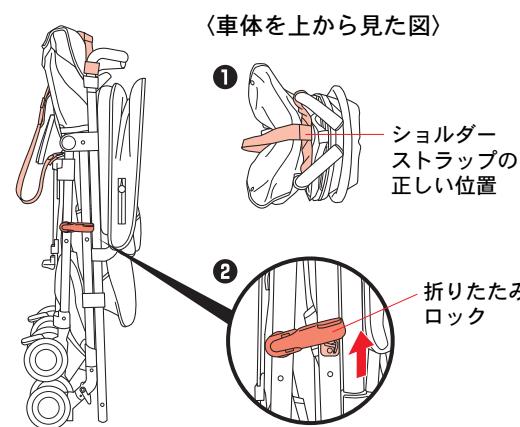
警告

- ・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

- ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

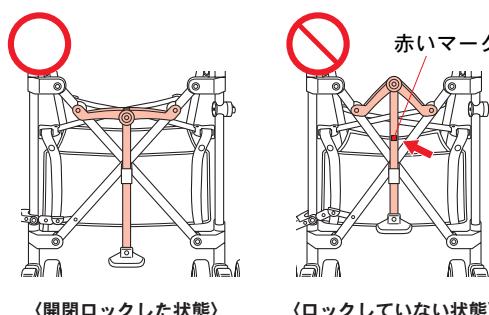
1 開く前に



- ① ショルダーストラップが正しい位置にあることを確認してください。ショルダーストラップがハンドルに引っかかったりすると、ベビーカーを開けない場合があります。
② 折りたたみロックを矢印の方向に持ち上げ、ロックを解除する。

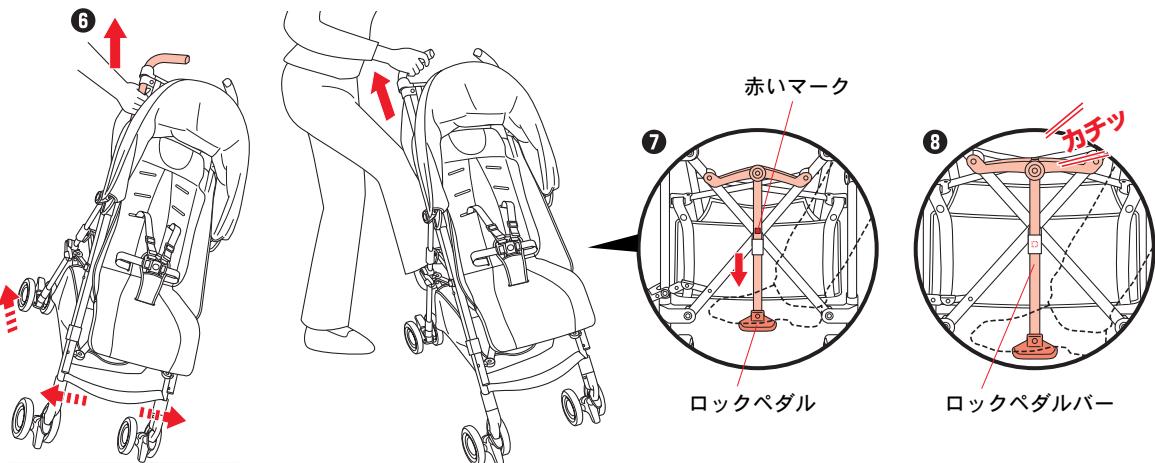
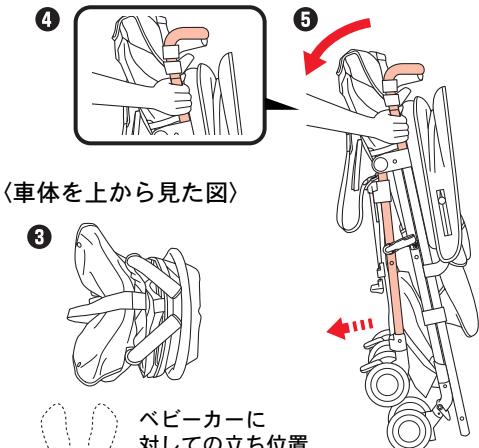
警告

- ・使用前は必ずロックペダルバー上部の赤いマークが隠れていることを確認する。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まるおそれがあります。



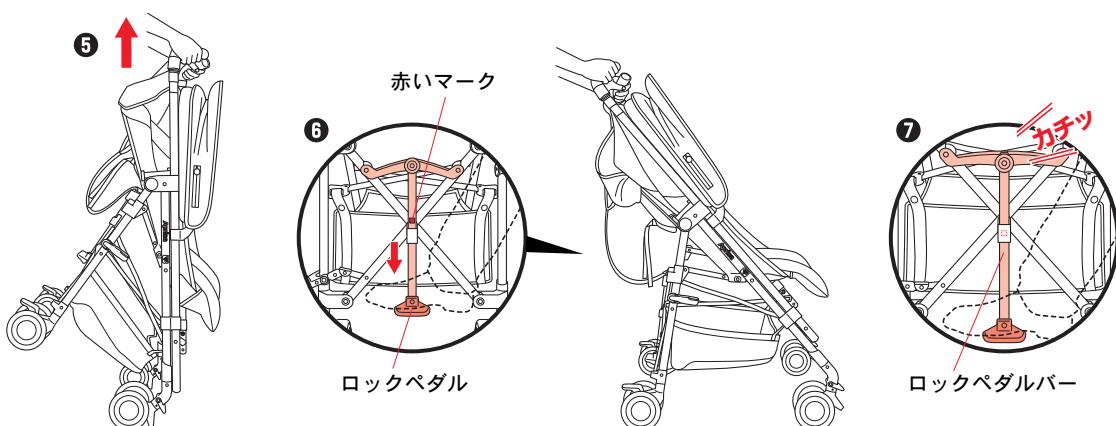
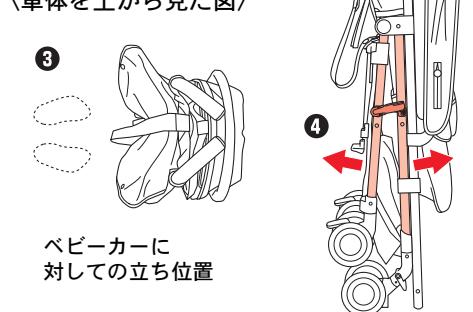
・本ベビーカーは、2通りの開き方ができます。

2 片手で開く時



- 指出し
・製品を取り出した時には、足のせサポートが下がった状態になっています。必要に応じて足のせサポートを上げてください。(P10参照)
・ハンドル部をひねらないように持ち上げることで、スムーズに車体を開けます。

2 兩手で開く時

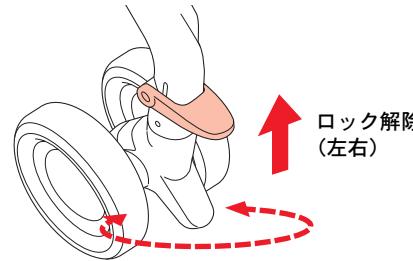


キャスターの使い方

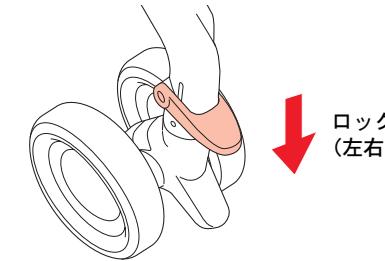
- ・製品を箱から取り出した際には、キャスターがロックされた状態になっております。

〈キャスターをロック解除する場合〉

- ・キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズであります。通常はこの状態でご使用ください。



- キャスター ロックレバーを上げ、ロック解除する。(左右)



- キャスター ロックレバーを下げる、ロックする。(左右)
ロックレバーを下げた後、車体を前方に少し動かし、ロックされたことを確認する。

ストッパーの使い方

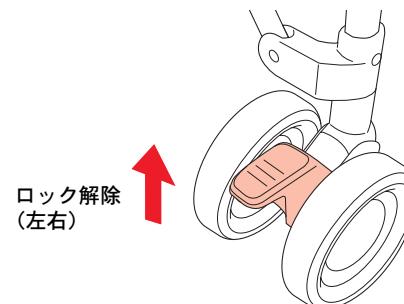
警告

- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。
- ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようできるものではありません。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

注意

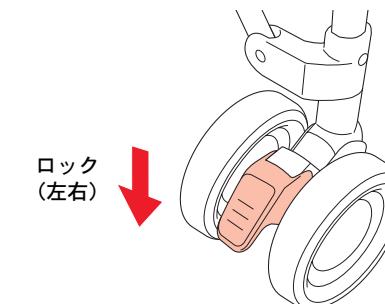
- ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

〈ストッパーをロック解除する場合〉



- 車輪のストッパーを押し上げて解除する。(左右)

〈ストッパーをロックする場合〉

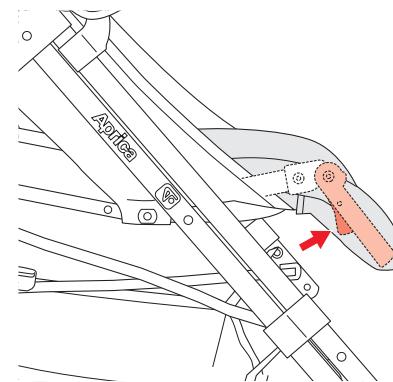


- ①車輪のストッパーを押し下げてロックする。(左右)
②前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

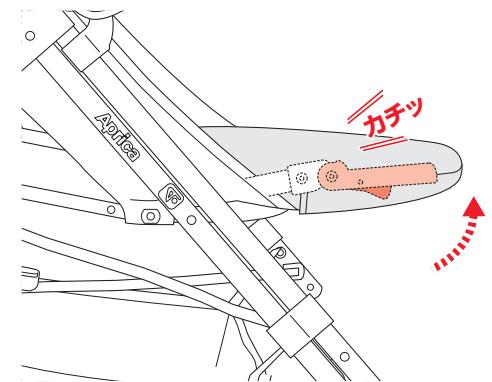
足のせサポートの使い方

- ・背もたれを一番倒した状態での使用時に、足のせサポートをご使用ください。
- ・製品を取り出した時には、足のせサポートが下がった状態になっています。必要に応じて足のせサポートを上げてください。

〈足のせサポートを使用する場合〉

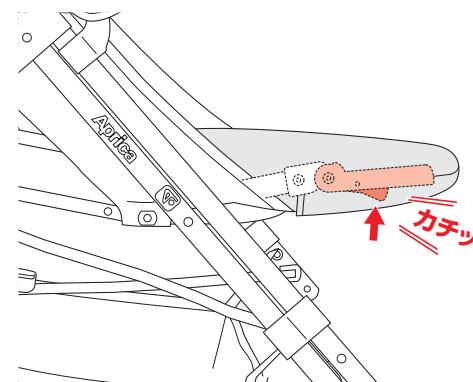


- ①シート内部のレバーをつまみ、(左右)

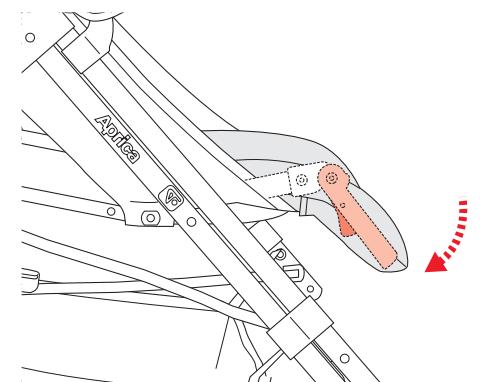


- ②足のせサポートを上げる。

〈足のせサポートを使用しない場合〉

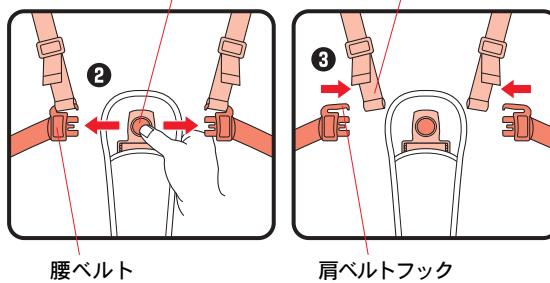
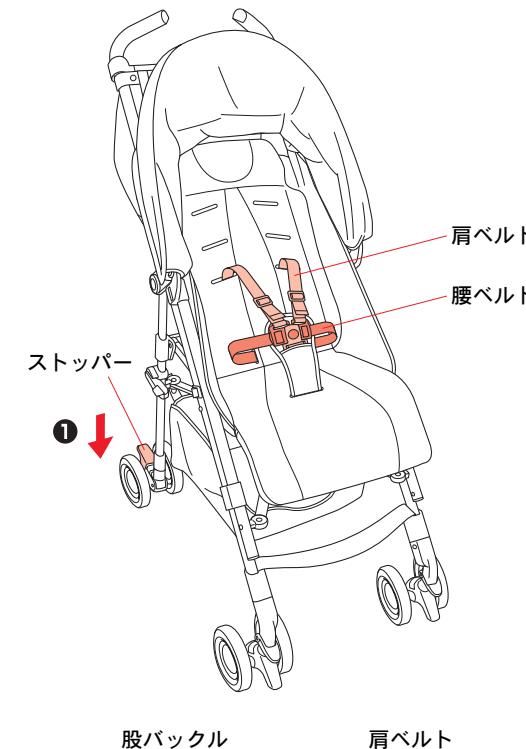


- ①シート内部のレバーをつまみ、(左右)



- ②足のせサポートを下げる。

1 準備

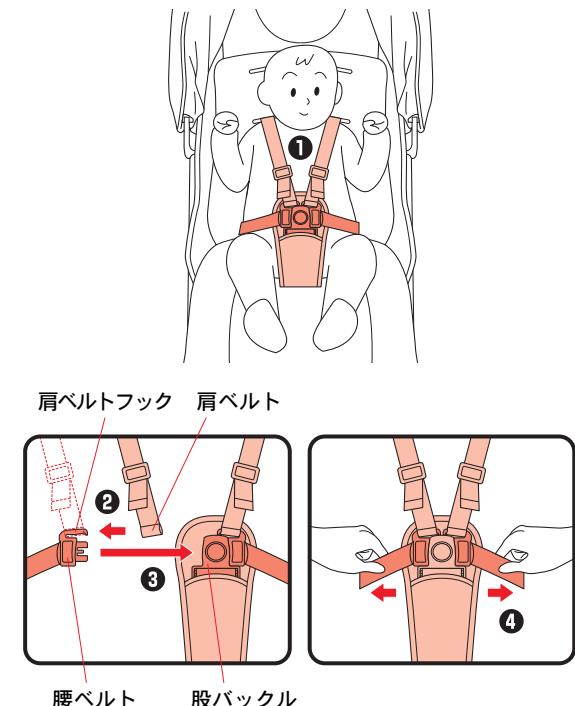


- ①ストッパーをロックする。(左右)
②股バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを外す。
③肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。

- ・肩ベルト位置を変える時は、
P13「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。
- ・リクライニングの角度を変える時は、
P14「リクライニングの角度調節」を参照ください。
- ・足のせサポートを使用する時は、
P10「足のせサポートの使い方」を参照ください。

2 乗せ方

<お子さまを乗せてシートベルトを締める>

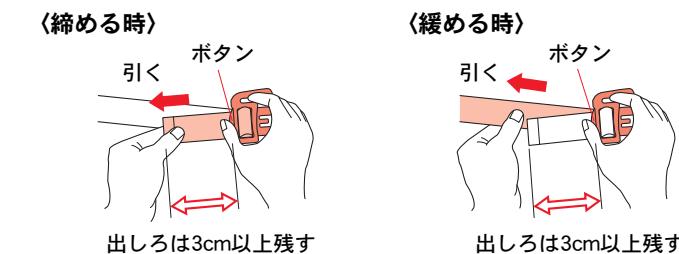


- ①お子さまを乗せる。
②肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
③腰ベルトを股バックルに差し込む。
④左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
※肩ベルトと腰ベルトと股ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P12参照)

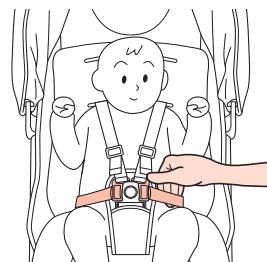
- アラート**
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
 - ・肩ベルトがねじれていなか確認してください。

- 警告**
- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
 - ・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがあ子さまの首に巻き付くおそれがあります。
 - ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思われる事故につながるおそれがあります。
 - ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗ること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

<腰ベルトの調節>

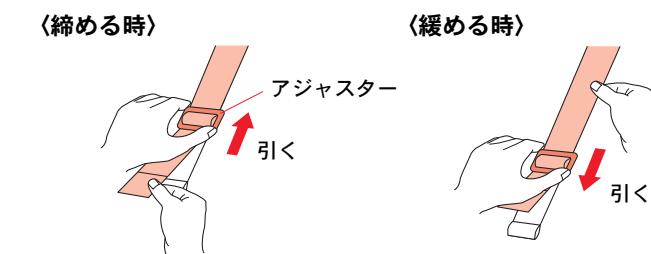


- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。



・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

<肩ベルトの調節>

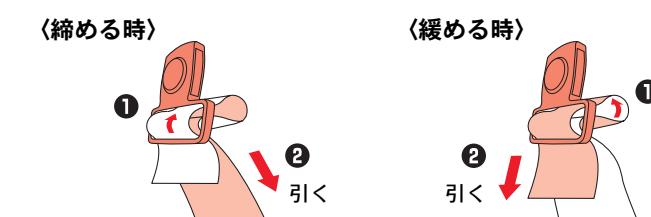


- アジャスターを引き、長さを調節する。



・肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締める。

<股ベルトの調節>

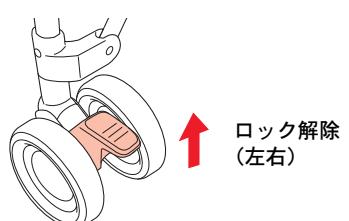


- ①ベルトを引き出す。
②ベルトを引き、長さを調節する。

・調節後、バックル裏ホックと股ベルトカバーのホックがとまっていることを確認してください。(P24参照)

- 警告**
- ・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
 - ・腰ベルトの末端の出しろ(←部分)は必ず3cm以上残す。
 - ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

<ストッパーをロック解除する>



- 車輪のストッパーを押し上げて解除する。(左右)

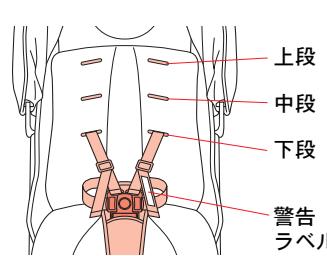
肩ベルトの高さ調節



・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

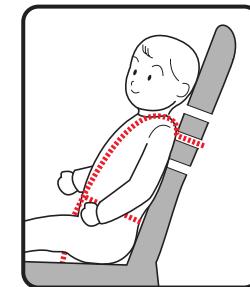
〈肩ベルト位置〉

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

- ・肩の位置より下段に通す。



- ・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

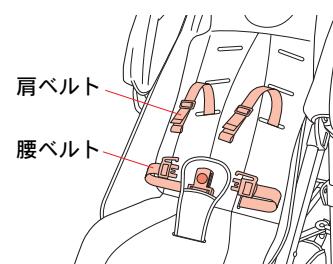
月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18ヶ月～36ヶ月	上 段
7ヶ月～18ヶ月	中 段
1ヶ月～7ヶ月	下 段

上記表示は目安であり個人差があります。

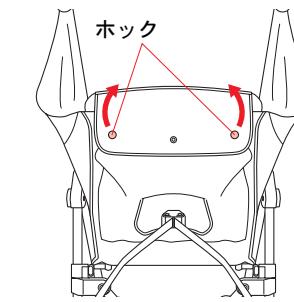


- ・日除け後部のホックを外して行ってください。(P21参照)
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表にくるようにして使用してください。
- ・肩ベルトがねじれていなか確認してください。

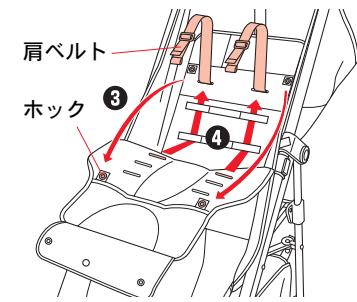
肩ベルトの高さ調節のしかた



- ①肩ベルト、腰ベルトを外す。(P11参照)

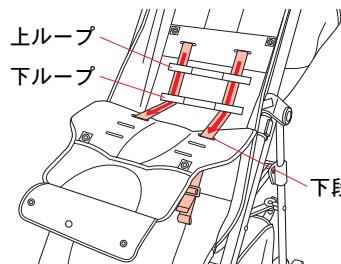


- ②背もたれ裏側のホックを外す。(2カ所)



- ③シートをめくり、ホックを外す。
(2カ所)
④肩ベルトをシートから引き抜く。

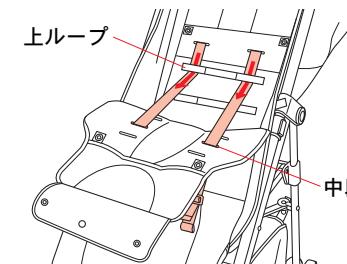
〈下段を使用する時〉



- 上下ループとシート穴(下段)に通す。

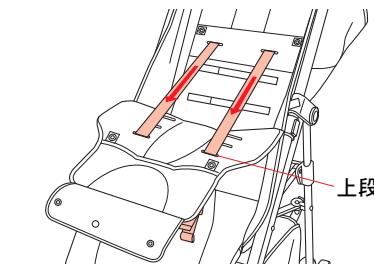
・高さ調節後、シート内側のホック(2カ所)をとめ、シートをかぶせ、背もたれ裏側のホックをとめる。

〈中段を使用する時〉



- 上ループとシート穴(中段)に通す。

〈上段を使用する時〉



- シート穴(上段)に通す。

リクライニングの角度調節

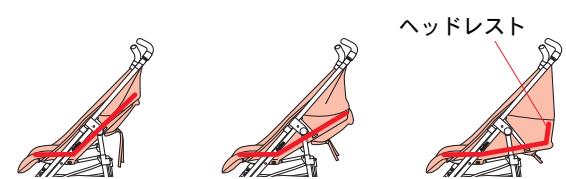
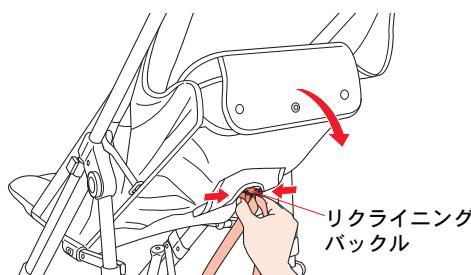
〈リクライニング位置の目安〉

月齢(体格)の目安	リクライニングの位置
1ヵ月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りてきてから	一番倒した状態～一番起こした状態



・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起き上がります。

背もたれを倒す時



- ①肩ベルトをゆるめる。(P12参照)

- ②リクライニングバックルを押し込みながら背もたれを倒し、角度を調節する。

- ③肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。(P12参照)



- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
- ・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



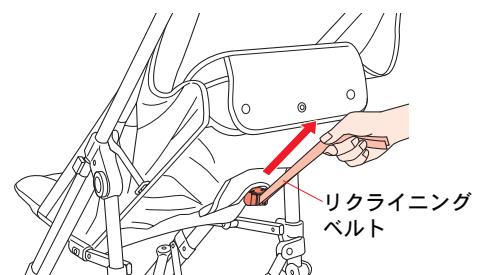
- ・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
- ・お子さまを乗せたままリクライニング調節する時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないよう注意する。
- ・ひとり座りができるお子さまは、背もたれを倒して使用する。



- ・ひとり座りができるお子さまで、ヘッドレストの位置が頭にくる場合には、背もたれを倒した時に無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置にリクライニング角度を調節してください。



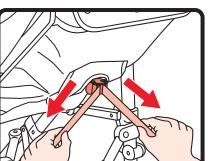
背もたれを起こす時



- お子さまの体重が背もたれにかかるない状態で、リクライニングベルトを持ち、上に引き上げて背もたれを起こす。



- ・リクライニングベルトを左右に引いても背もたれを起こすことができます。
- ・お子さまの体重が背もたれにかかるった状態では、起こすことはできません。



日除けの使い方

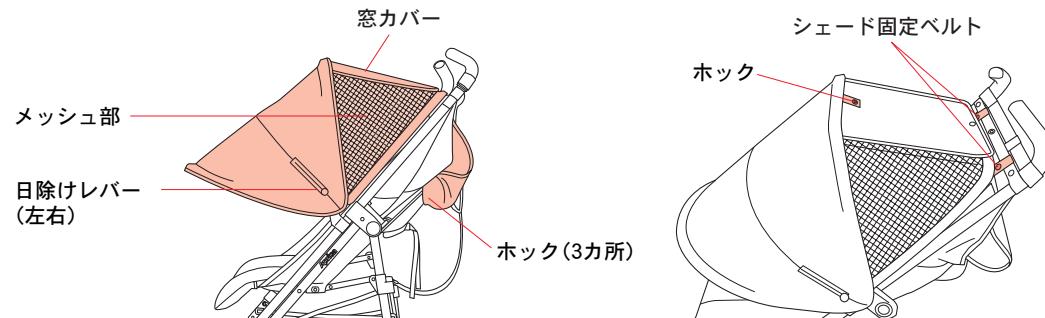


- ・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

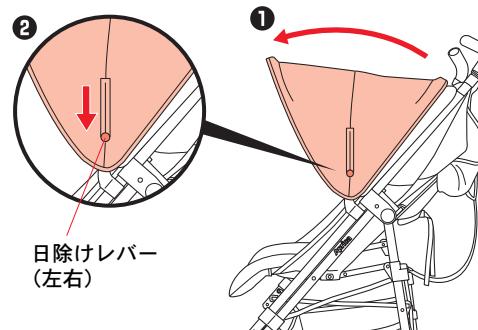


- ・シェード固定ベルトを外して使用しないこと。日除けが開閉できなくなることがあります。

〈日除け各部の名称〉

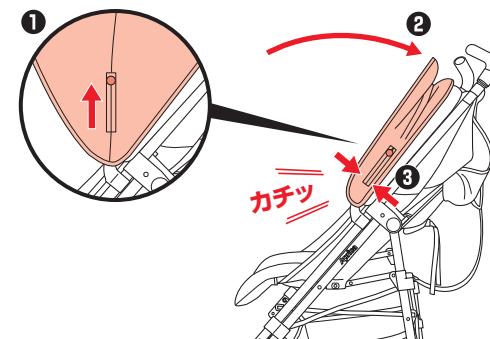


開き方



- ①日除けを前方に開く。
- ②日除けレバーをつまんで押し下げる。(左右)

閉じ方



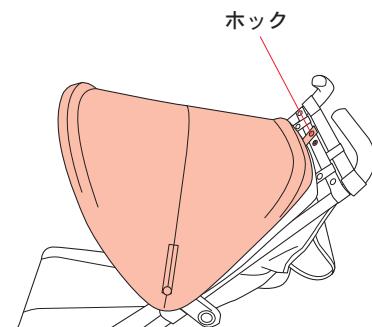
- ①日除けレバーをつまんで引き上げる。(左右)
- ②日除けを閉じる。
- ③矢印の方向に「カチッ」と音がするまで折りたたむ。



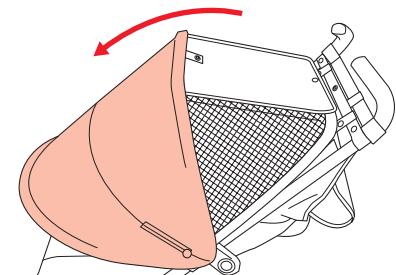
- ・日除けの上にものを載せない。日除けが破損するおそれがあります。
- ・日除けレバーに荷物などを吊さない。破損するおそれがあります。

日除けの角度調節

- ・背もたれを倒した時や日差しの低い時など、日除けの角度を調節できます。



- ①日除けとハンドルベルト中央のホックを外す。

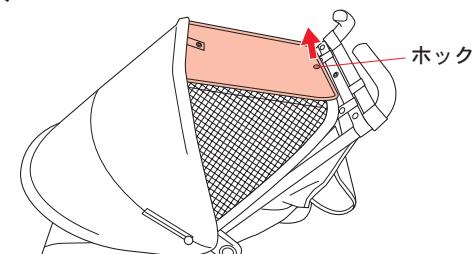


- ②日除けの先端を持って、メッシュ部を引き出す。

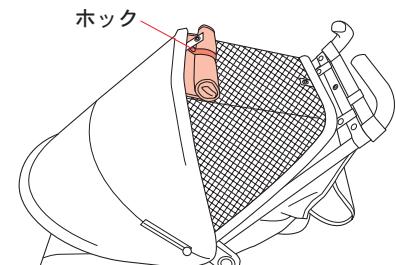
窓カバーの使い方

- ・窓カバーを開くと、窓からお子さまの様子を見ることができます。
- ・日差しの強い時など、窓カバーをご使用ください

〈開き方〉

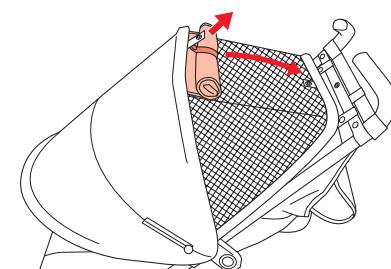


- ①ホックを外す。

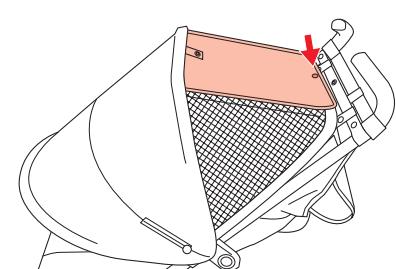


- ②窓カバーを丸め、ホックをとめる。

〈閉じ方〉



- ①ホックを外し、窓カバーを広げる。



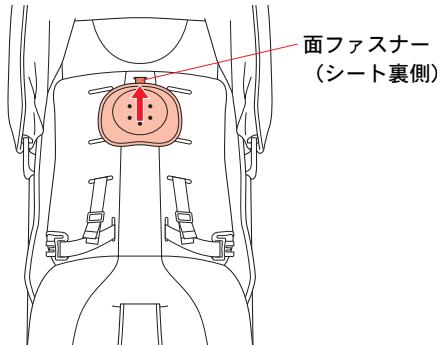
- ②ホックをとめる。

パッド類の取り付け方

- 頭マモールパッド、腰マモールパッドは、ベビーカー内において、お子さまの姿勢を適切に保つことをサポートします。

頭マモールパッド 首すわりの頃(月齢の目安:4カ月頃)までご使用ください。

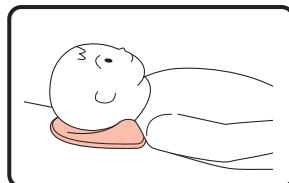
- 頭マモールパッドは肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。
お子さまの発育に合わせて最長7カ月頃まで使用できます。(肩ベルトの高さ調節はP13参照)



- ①背もたれを一番倒した状態にする。(P14参照)
- ②頭マモールパッドに付いている面ファスナーの白い布生地を取り、パッド取り付け穴に面ファスナー付きベルトを矢印の方向に通し、シート裏側の生地に取り付ける。

• パッドが取り付けにくい場合は、シートの上部を外して、シートの裏側を見ながら取り付けてください。
(シートの取り外し方はP22参照)

〈頭マモールパッドの取り付け位置について〉

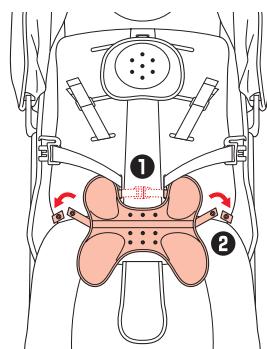


- パッド下部のふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。
※パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなったら取り外してください。

注意

- ・頭マモールパッドは、肩ベルト位置が中段や上段の時は使用できません。また、パッド下部のふくらみの位置があ子さまの首の後ろに合わなくなったら取り外す。

腰マモールパッド (1カ月～3歳頃まで使用できます。)



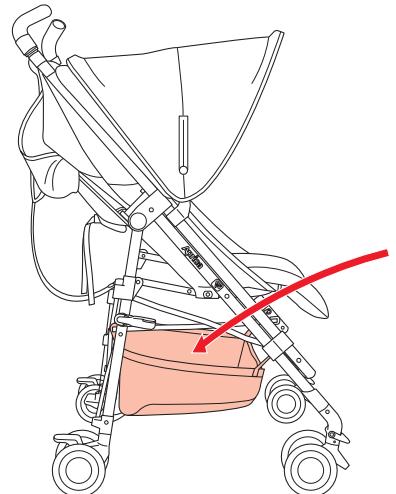
- ①上部のベルトバックルをクッションマットの腰ベルト通し穴に通し、とめる。
- ②腰マモールパッド横側のホックをクッションマット脇のホックにとめる。

• 3歳未満でも、お子さまの体格によっては腰マモールパッドが合わなくなることがあります。
その時は取り外してください。

カゴの使い方

注意

- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
- ・重量2.5kg以上の荷物を入れない。
- ・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。



- カゴの横側から荷物の出し入れをします。

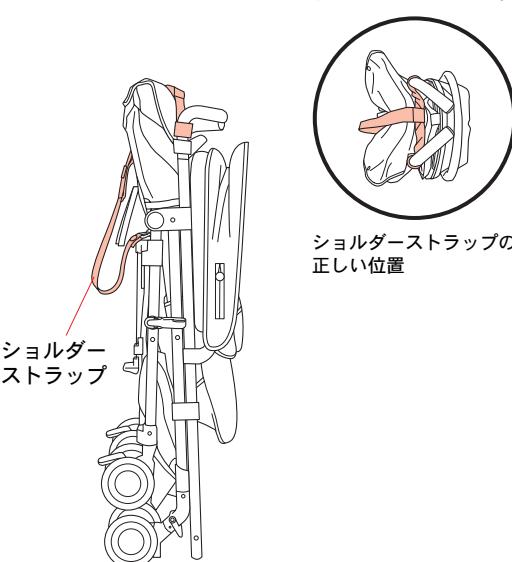


• 荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

- ・カゴは取り外しあできません。
カゴ内部に砂やゴミが入った場合は、ベビーカーの後輪を持ち上げ、カゴ底面を裏から押して、ゴミを落とします。

ショルダーストラップの使い方

車体を上から見た図



ショルダーストラップの正しい位置

- 車体を折りたたんだ時に、肩にさげて持ち運ぶことができます。
- ショルダーストラップを車体から取り外すことはできません。
- ベビーカーを開く時はショルダーストラップが正しい位置にくるようにしてください。



• 車体に付着している油・泥・砂を拭き取ってからお使いください。衣類に付着するおそれがあります。
・リクライニングベルトをつかんでベビーカーを持ち運ばない。開閉操作がしづらくなります。

ベビーカーの折りたたみ方



- 開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思ぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

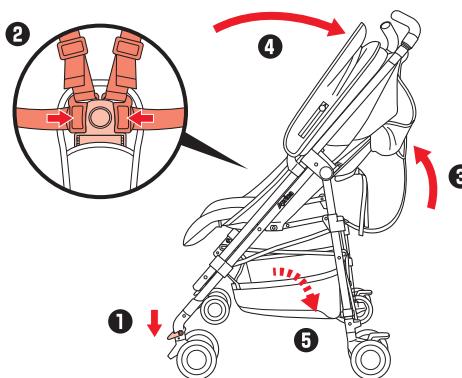


- 肩ベルト、腰ベルトをバックルに差し込んでからベビーカーを折りたたむこと。バックルが破損するおそれがあります。



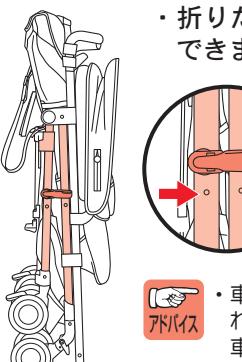
- 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に



- ①前輪キャスターをロックする。(P9参照)
- ②肩ベルト、腰ベルトをバックルに差し込む。(P11参照)
- ③背もたれを起こす。(P14参照)
- ④日除けを閉じる。(P15参照)
- ⑤カゴから荷物を取り出す。

<更にコンパクトに折りたたむ時>



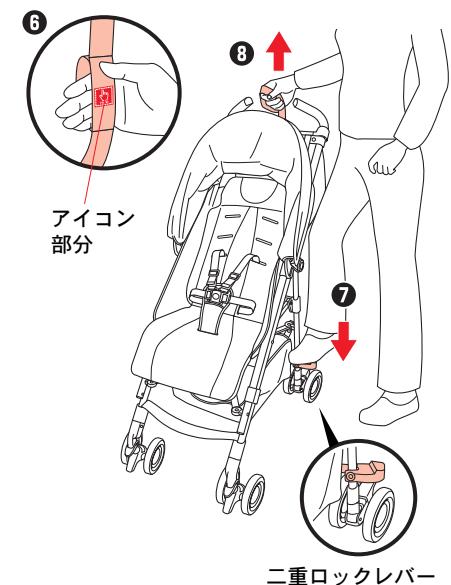
・折りたたみロックは2段階にロックできます。

●手でフレームを閉じて、折りたたみロックをかける。

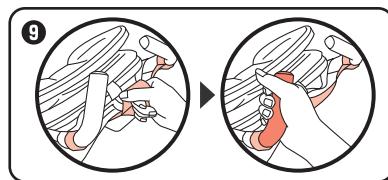
・車体を傾けて行うとロックできないおそれがあります。
車体を自立させた状態でロックしてください。

・本ベビーカーは、2通りの 折りたたみ方ができます。

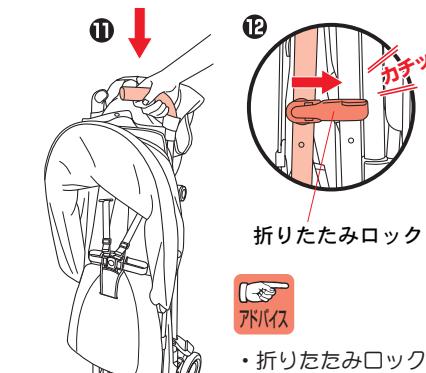
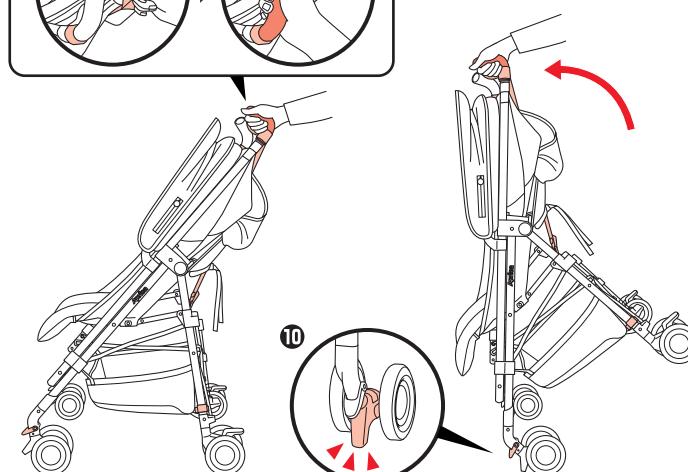
2 片手で折りたたむ時



- ⑥ショルダーストラップのアイコン部分に手を通し、
- ⑦二重ロックレバーに足をかける。
- ⑧ショルダーストラップを引き上げる。



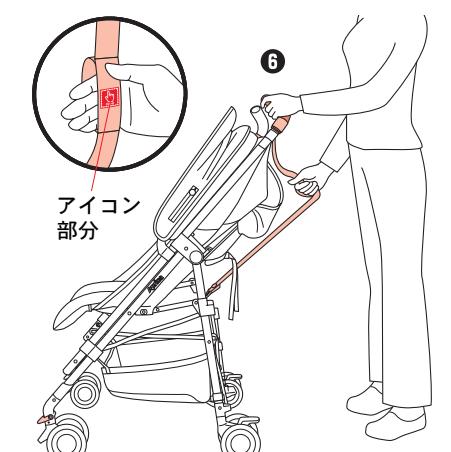
- ⑨ショルダーストラップを手に通したままハンドルを握る。二重ロックレバーから足をおろす。
- ⑩キャスター先端が地面に接するように車体を立てる。



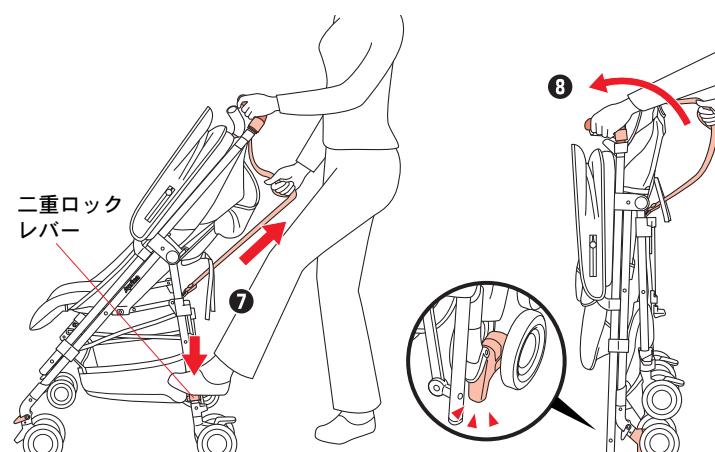
- ・折りたたみロックがかからない場合には矢印の方向に寄せせる。

- ⑪ハンドルを地面に向かって押し下げる。
- ⑫折りたたみロックがかかっていることを確認する。

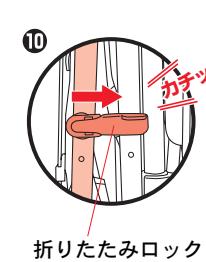
2 両手で折りたたむ時



- ⑥左手でハンドルを持ち、右手をショルダーストラップのアイコン部分に手を通す。



- ⑦二重ロックレバーに足をかけ、ショルダーストラップを引き上げる。
- ⑧キャスター先端が地面に接して安定するまで起こす。



- ・折りたたみロックがかからない場合には矢印の方向に寄せせる。

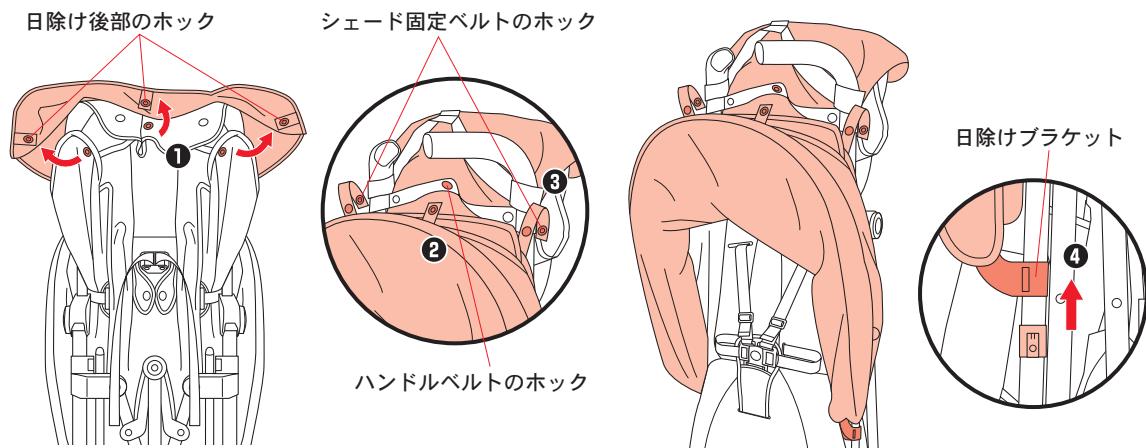
- ⑨ハンドルを地面に向かって押し下げる。
- ⑩折りたたみロックがかかっていることを確認する。

日除けの取り外し方

・走行中(車体を開いた状態)には、日除けを取り外すことはできません。日除けを取り外す際は、車体を折りたたんでから行ってください。(ベビーカーの折りたたみ方はP19参照)

お願い ・日除けの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。

取り外し方



①日除け後部のホックを外す。(3カ所)

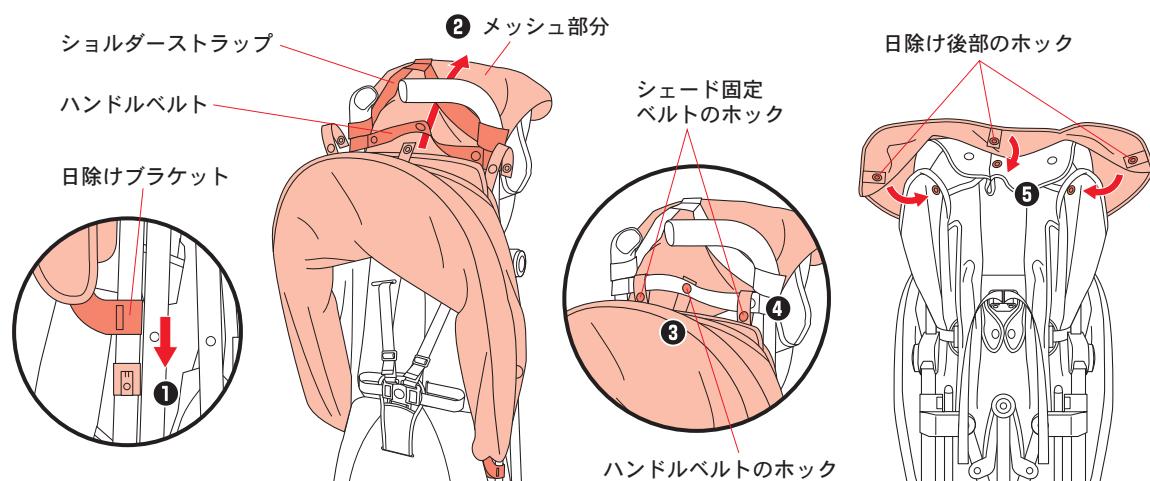
②ハンドルベルトのホックを外す。

③シェード固定ベルトのホックを外す。(2カ所)

④車体を折りたたんだ状態で、日除けブラケットを上方へスライドし、引き抜く。(左右)

取り付け方

・車体を折りたたんだ状態で日除けを取り付けてください。



①日除けブラケットを下方にスライドし、取り付ける。(左右)

②メッシュ部分をハンドルベルトとショルダーストラップの下に通し、背もたれ側にかぶせる。

③ハンドルベルトのホックをとめる。

④シェード固定ベルトをハンドルベルトに巻き付け、ホックをとめる。(2カ所)

⑤日除け後部のホックをとめる。(3カ所)

シートの取り外し方



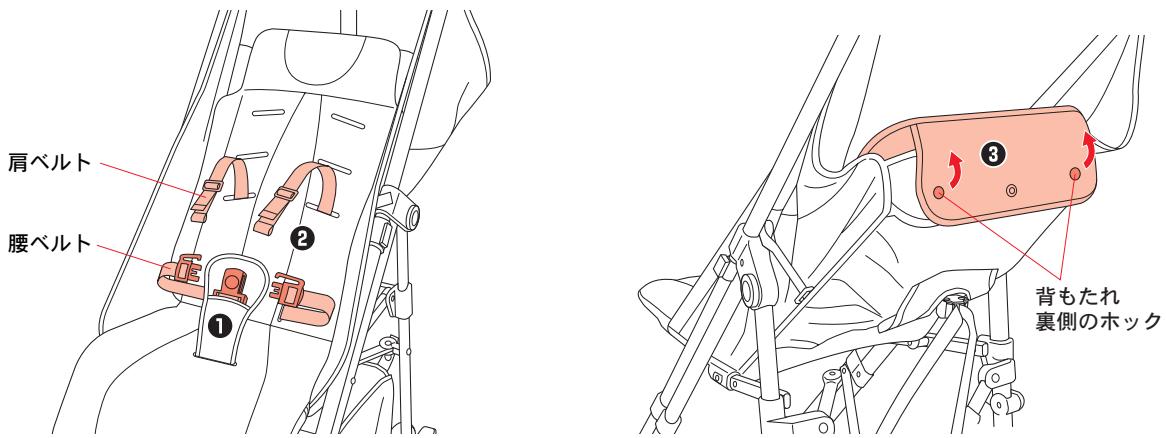
・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

お願い ・シートの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。



アバズ

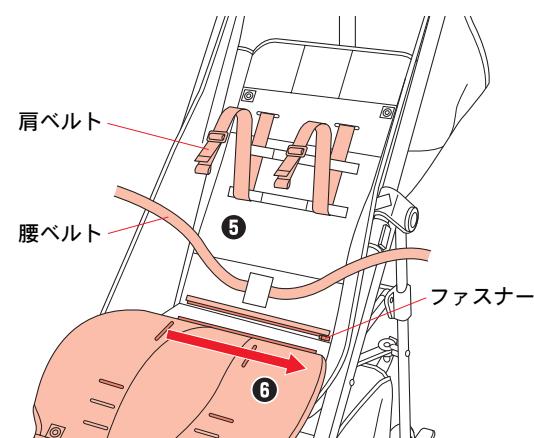
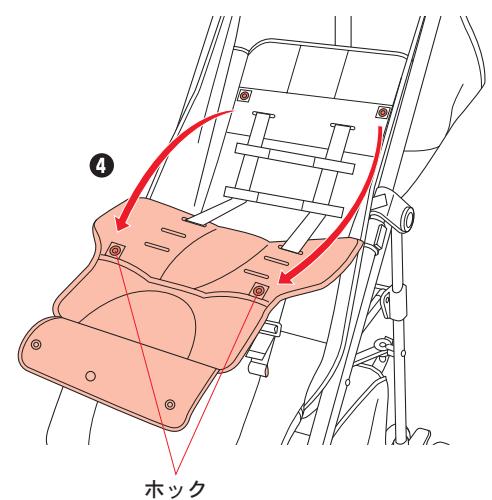
・日除け後部のホックを外して行ってください。(P21参照)



①バックルを押して、肩ベルト、腰ベルトを外す。

②肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。

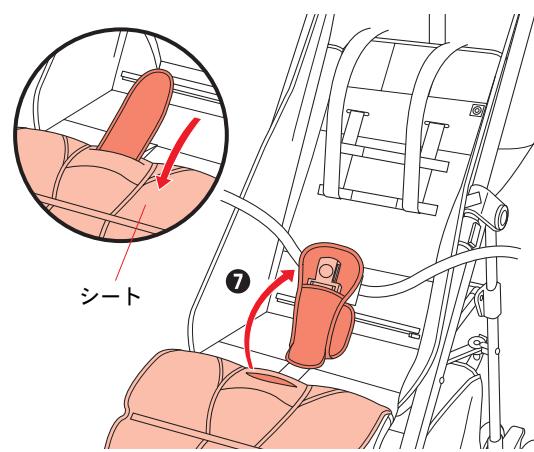
③背もたれ裏側のホックを外す。(左右)



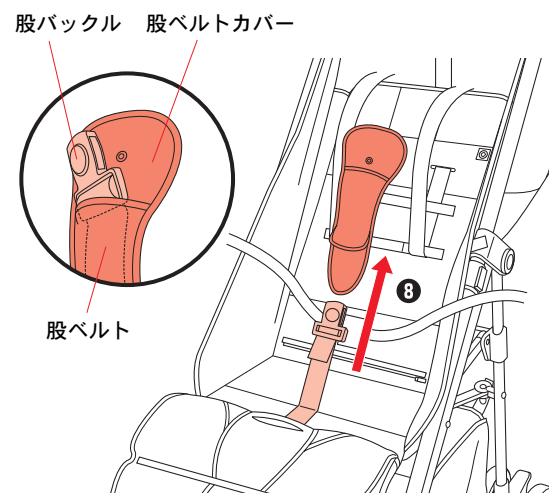
⑤肩ベルト、腰ベルトをシートから引き抜く。

⑥腰部のファスナーを外す。

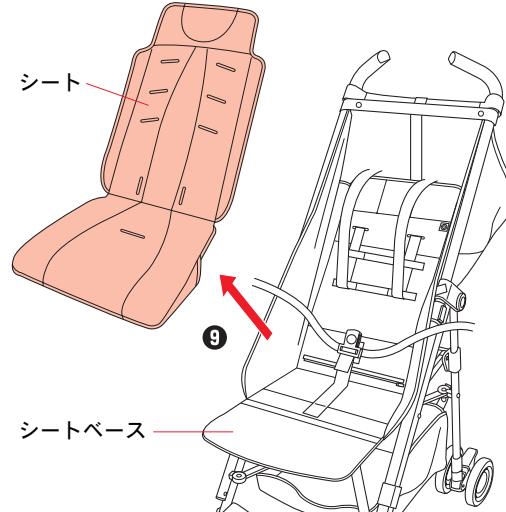
シートの取り外し方



⑦シートをめくり、股ベルトを引き抜く。



⑧股バックルのホックを外し、股ベルトカバーを抜き取る。



⑨シートをシートベースから抜き取り、取り外す。

○肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、ハンドルベルト、リクライニングベルトは取り外しできません。



注意

・破れやほつれのあるシートをそのまま使用しない。中の綿をお子さまが誤飲したり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。

シートの取り付け方

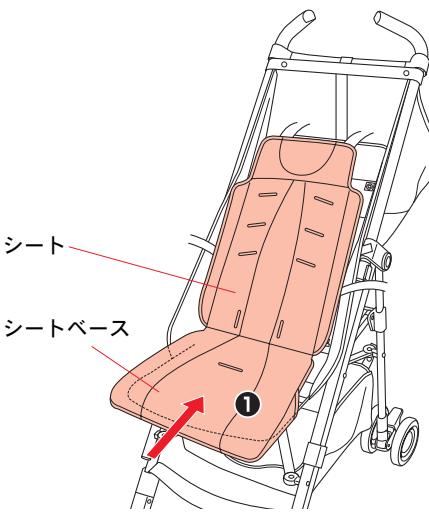


・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

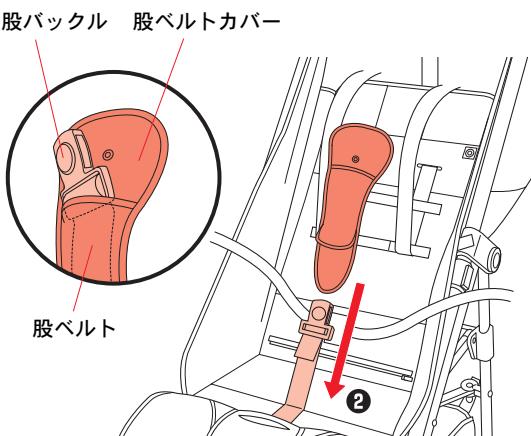


お願い

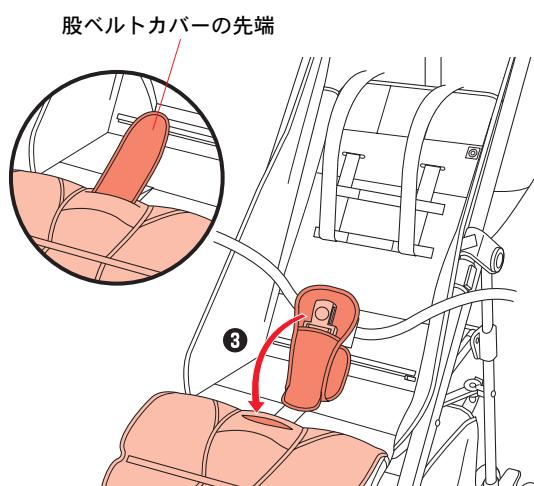
・シートの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。



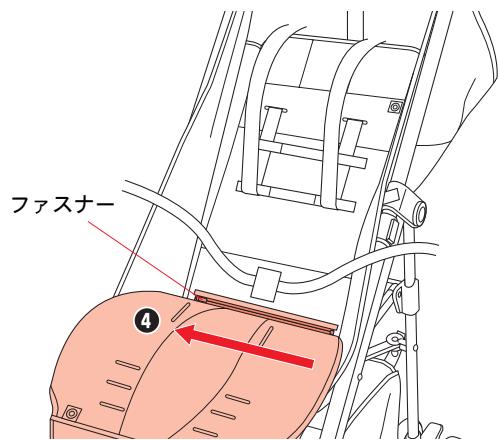
①シートをシートベースに取り付ける。



②股ベルトに股ベルトカバーを取り付け、ホックをとめる。

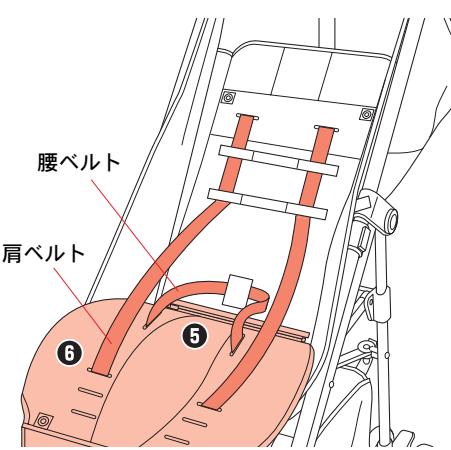


③股ベルトを股ベルト通し穴に通す。

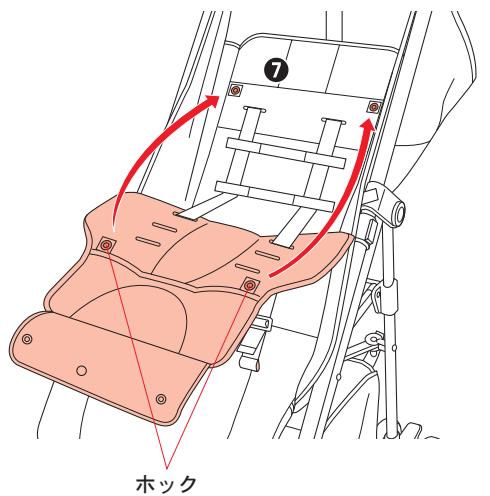


④腰部のファスナーをとめる。

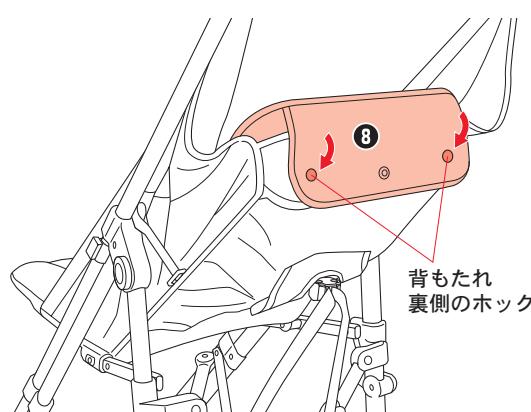
シートの取り付け方



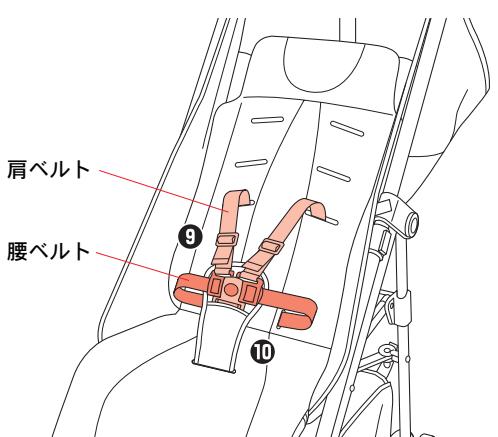
- ⑤腰ベルトを腰ベルト通し穴に通す。
⑥肩ベルトを肩ベルト通し穴に通す。



- ⑦背もたれ上部のホックをとめる。(左右)



- ⑧背もたれ裏側のホックをとめる。(左右)



- ⑨肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
⑩腰ベルトを股バックルに差し込む。



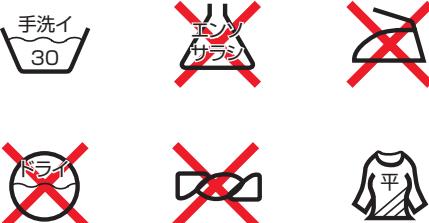
- ・シートを取り付ける時はホックやファスナーを確実にとめる。
取り付けが不完全な状態で使用すると、ケガや破れなどの原因になります。

日常のお手入れ

縫製品の洗浄方法

〈シート、頭マモールパッド、腰マモールパッド、股ベルトカバーの洗浄について〉

- 以下の点に注意して洗濯してください。



- 注意**
- 縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
 - 使用の際に、濃色繊維については、若干の色落ちがある場合があります。
 - アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、シートベルト、カゴ、リクライニングベルト、ショルダーストラップの洗浄について〉

- 丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

- 注意**
- 縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検、修理を受ける。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

- フレームや車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。



- フレームや車輪に泥やホコリが付いたまま使用しない。故障の原因となります。
- 泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

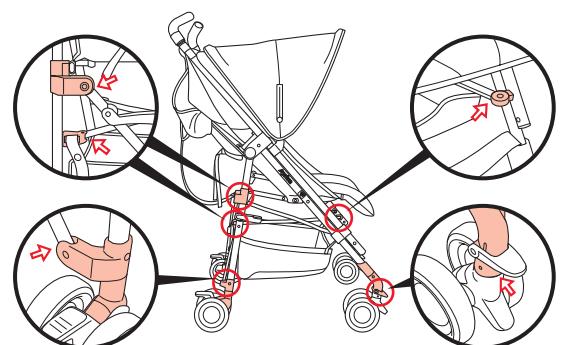
- 車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせの上、交換してください。(有償)

〈ネジ・ナット類について〉

- ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

〈注油について〉

- 可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはプラスチック用の潤滑油を使用ください。
- 注油の前には、泥やほこりを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
- 注油は、1カ所につき2~3滴程度としてください。



- 車体がスムーズに開閉しない場合や、キャスターがスムーズに回転しない場合、車輪や車体がぎしむ場合は、市販の潤滑油を図の➡の箇所にさし、開閉操作を2~3回行います。(開閉の場合のみ)

困った時

- 下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
車体が開かない時は	ショルダーストラップがハンドルにかかっていないか確認してください。(P18参照)。
キャスターが回転しない時は	キャスターのロックを左右共解除してください。(P9参照)
キャスターの回りが悪い時は	キャスターに潤滑油をさしてください。(P26参照)
ストッパーがきかない時は	ストッパー部に石などが挟まっているか確認してください。
リクライニングが起こせない時は	お子さまをベビーカーから降ろして、リクライニングベルトを引いてください。(P14参照)
肩ベルトが腰ベルトに差し込めない時は	衣類などの生地やシートベルトが挟まっているか確認してください。
ベビーカーが折りたためない時は	〈折りたたむ前に〉を行ってから折りたたんでください。(P19参照)
タイヤが消耗した時は	タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は交換が必要です。 弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P29参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

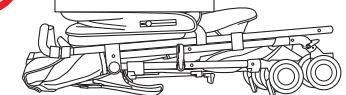
- 本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- 上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



- 日除けの变形を防ぐため、上向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。
プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。



荷物



廃棄について

- お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- 環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- 事故の原因となった SGマーク表示の製品
 - イ) 製品の名前、SGマーク番号　ロ) 製品の購入先、購入年月
- 事故発生の状況
 - イ) 事故発生年月日　ロ) 事故発生場所　ハ) 事故発生状況
- 被害の状況
 - イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ) 被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

○保証について

・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。

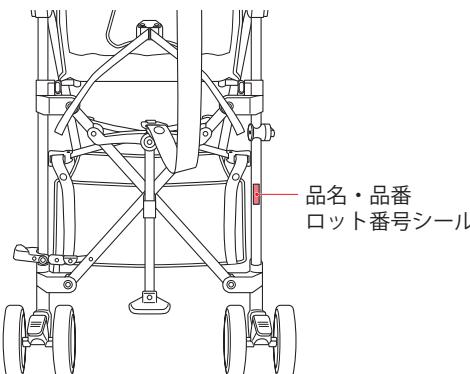
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1ヶ月です。)

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

○アフターサービスについて

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があつたり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル背面側シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間: AM10:00~PM5:00 (土、日、祝日、弊社所定休日を除く)